

女川町まちづくり ワーキンググループ 瓦版

第
8/9
号

女川町まちづくりワーキンググループの内容をお知らせします

第8回、第9回 女川町まちづくりワーキンググループが 開催されました！

第8回ワーキンググループでは、中間報告会を行いました。町民のみなさんに加え、役場の職員やメディア関係者も傍聴に訪れ、会場は満員でした。参加者の多さに緊張も見られましたが、これまでの検討成果が十分に披露されました。

第9回ワーキンググループでは、中間報告の振り返りを行った後、今後の検討テーマについて各グループで議論しました。各グループから挙げられたテーマは、次回以降のワーキンググループで検討していきます。

第8・9回 ワーキンググループ 開催概要

●日時

第8回:平成24年10月11日(木)
第9回:平成24年10月25日(木)
各回ともに 18:45~20:45

●場所

女川町総合体育館 2階剣道場

●参加者

第8回:32名、第9回:30名

第8回WGでは、各グループが第3回~第7回WGで検討してきた内容を、各グループでまとめた模造紙等を用いて中間報告として発表しました。他グループとの情報共有や意見交換ができ、今後の検討につながる貴重な回になりました。

第9回WGでは、まず全員で中間報告の内容を振り返りました。それから、下記手順に従い、各グループで提言に向けた具体テーマの集約を行いました。各グループの検討結果は裏面をご覧ください。

■ 第9回グループワーク手順 ■

- ① これまでに検討できなかったテーマ、検討が十分でないテーマ、新たに検討したいテーマを挙げる。
- ② ①の中から、今後具体的に検討したいテーマを絞り込む。
- ③ ②で絞り込んだテーマを「ハード事業(緑)」「ソフト事業(ピンク)」「新たなテーマ(白)」に仕分けし、それぞれの色のA4用紙に記載する。その際、そのテーマの内容に関連すると思われるグループも記載する。
- ④ 各グループで挙げたテーマを貼り出し、全員で共有する。

● 第8回WGのプログラム ●

- 1 説明
- 2 中間報告の準備
- 3 中間報告
・各グループ発表・意見交換
- 4 まとめ

● 第9回WGのプログラム ●

- 1 説明
- 2 中間報告の振り返りと意見交換
- 3 グループワーク
・提言に向けた具体テーマの集約
- 4 まとめ



女川町役場 復興推進課

〒986-2261 宮城県牡鹿郡女川町女川浜字大原 316 電話:0225-54-3131(代表)

● 第9回 WG 各グループの検討結果 ●

各グループの抽出テーマは、以下のとおりです。

グループ	抽出テーマ（※〔 〕内は関連するグループ）	
商業・観光A	■ハード■	<ul style="list-style-type: none"> ● 商業ゾーンの運営方法（あり方） ● ネイチャーセンターの運営方法
	●ソフト●	<ul style="list-style-type: none"> ● 女川ビーチについての実現可能な整備場所について【公共G】 ● 女川ビーチ周辺の施設内容の検討【公共G】 ● スポーツ施設整備の内容【公共G】 ● ネイチャーセンターの整備場所の検討【公共G】 ● 商業ゾーンの施設配置【公共G】 ● スポーツ施設と商業地区の施設配置【公共G】
商業・観光B	■ハード■	● 複合スポーツ施設（中身、担い手、ターゲット、場所、活用法）【観光G-A】
	◆新テーマ◆	● 離島の活用（レジャー・キャンプ宿泊地としての活用、学校の利用法、橋の建築など）
漁業・水産加工	■ハード■	<ul style="list-style-type: none"> ● 海の駅（水産物直販所） ● 港の整備のあり方（水深のあり方、大型船への対応） ● 国道398の利用のあり方（イベントスペースとしての活用） ● 海岸沿いの整備方法（砂浜、岸壁の整備のあり方）【観光G】 ● 代替地（換地）のあり方（町民目線、生活目線での造成の考え方、盛土の高さ）
	●ソフト●	<ul style="list-style-type: none"> ● 認証マーク（女川産の安全の証明） ● 情報発信（安全性の情報） ● 跡地利用の考え方（ニッスイ、ミール工場など）
	◆新テーマ◆	<ul style="list-style-type: none"> ● 柔軟な土地利用のあり方（用途を細分化せず、柔軟に） ● まちを回遊する仕組み（宿泊者への食事券など） ● 新たな雇用の創出（国の施設の配置など）【観光G】
公共施設・街並み	■ハード■	<ul style="list-style-type: none"> ● レジャー施設（マリナー、海釣り公園、スポーツ施設）【観光G】 ● 親水公園（女川の河川空間）のデザイン【公共G、教育G】 ● 海の駅（飲食、温泉など）の施設内容、デザイン、運営 ● 役場庁舎ビル、駅ビル（各ビル内の機能と配置、歴史館、防災） ● 庁舎のデザイン ● 住宅団地（自立再建部分）の景観
	◆新テーマ◆	<ul style="list-style-type: none"> ● 個々の公共施設（施設機能・配置・デザイン・運用） ● 「防災」各地区の災害時の水の確保（震災時の教訓）【公共G】 ● カジノ・歓楽街（大人が楽しめるような）【観光G、公共G】 ● 震災ミュージアム（遺構の保存、防災意識の継承など）【公共G】 ● 女川のゆるきゃらのデザイン・活かし方【公共G】 ● 半島の暮らし（交通、家並み景観、集会施設）【公共G】 ● 災害公営住宅（陸上競技場）【公共G】 ● 海岸通りに野外イベント場【観光G】 ● 音楽イベントやみなとまつり ● 海ポータル、キャンプ場【観光G】
福祉・コミュニティ・交通	■ハード■	<ul style="list-style-type: none"> ● バス停・バスの車体などの色分け（統一サイン）【福祉G・公共G】 ● 高台の利用方法【商業G、公共G、福祉G】 ● 高台同士の遊歩道整備（福祉の視点から）【福祉G、街並みG】 ● 地元/県外の人でも使えるコミュニティスペースの設置 ● バス停のバリアフリー化【福祉G】
	●ソフト●	<ul style="list-style-type: none"> ● バスの運営主体（運行本数や運賃、交通機関のあり方の見直し）【福祉G】 ● 福祉関係の学校の誘致【公共G、福祉G、教育G】 ● プラチナ人材センターの運営母体【公共G、福祉G全グループ】
教育・育児	■ハード■	<ul style="list-style-type: none"> ● 親水公園（子どもたち目線で）【教育G、観光G、公共G】 ● 保育所の設置箇所【教育G、公共G】 ● 防災公園【教育G、公共施設G】 ● キャンプ場【教育G、観光G】 ● 子ども達が遊ぶ公園（街区公園）【教育G、公共G】
	◆新テーマ◆	● 生涯教育（町民の生きがいをみつける旅）【教育G】

